

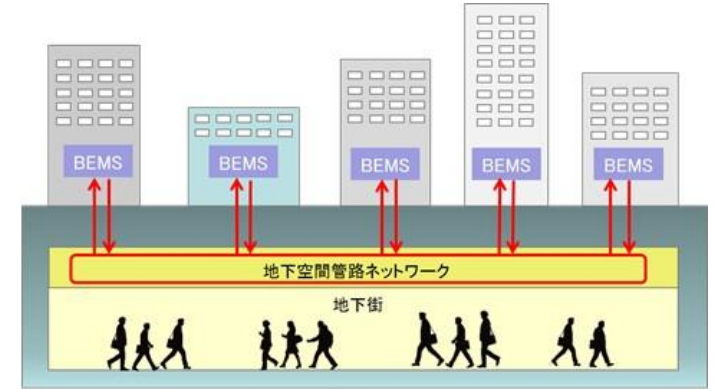
神戸都心・三宮地区における次世代スマートエネルギーインフラ構想 ～既存地下街を活用した管路ネットワーク形成の実現～

代表提案者

神戸市

【コンセプト】

持続可能で低炭素な三宮地区のリノベーションを牽引していくために、既存の地下空間を活用して面的エネルギー利用を可能とする管路ネットワークを形成することにより、建替えや設備更新などに合わせて順次ビル群を接続し、有機的に拡大・成長する「次世代スマートエネルギーインフラ」構築を目指す。



▲地下空間管路ネットワークのイメージ図

【リーディングプロジェクト】

(1) 地区レベルでの面的エネルギー利用

①建築物の省エネとCEMS形成

各施設（駅、ビル、公共施設等）の省エネ性能の向上やBEMS導入を進めるとともに、一元的な情報プラットフォームとなるCEMSを構築

②自律分散型エネルギーシステム導入

再開発やビルの建替えに合わせて、分散型エネルギーシステム（CGS、PV+蓄電池等）を導入

(2) 未利用エネルギー活用

下水等の未利用エネルギーや地下水を熱源として活用。また、地下空間を活用した熱融通システムを構築し、地区全体での未利用エネルギーの有効利用を図る